

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【公表番号】特表 2005-504136 (P2005-504136A)

【公表日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-006

【出願番号】特願 2003-527027 (P2003-527027)

【国際特許分類】

C 0 8 L 75/04 (2006.01)

A 4 1 D 19/00 (2006.01)

A 6 1 B 19/04 (2006.01)

C 0 8 K 9/10 (2006.01)

C 0 9 D 175/04 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 75/04

A 4 1 D 19/00 P

A 6 1 B 19/04

C 0 8 K 9/10

C 0 9 D 175/04

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 1 日 (2007.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外表面、およびポリウレタンで結合したマイクロカプセルを含む内側皮膚接触表面を含む手袋であって、前記マイクロカプセルがマイクロカプセルコーティング内に含まれるコア物質を含み、使用者の手が手袋に挿入されることにより複数のマイクロカプセルが崩壊し、それによって使用者の手に前記物質が放出される、前記手袋。

【請求項 2】

請求項 1 の手袋であって、マイクロカプセルコーティングがポリアセタールウレアを含み、コア物質が低粘度炭化水素、フレグランス、およびビタミンを含む、前記手袋。

【請求項 3】

請求項 1 の手袋であって、マイクロカプセルコーティングがポリアミドを含む、前記手袋。

【請求項 4】

請求項 1 の手袋であって、マイクロカプセルコーティングがゼラチンを含む、前記手袋。

【請求項 5】

請求項 2 の手袋であって、低粘度炭化水素が水素化ポリイソブテン、水素化ポリブテン、および水素化ポリデセンからなる群から選択される、前記手袋。

【請求項 6】

請求項 5 の手袋であって、低粘度炭化水素が水素化ポリイソブテンである、前記手袋。

【請求項 7】

請求項 2 の手袋であって、低粘度炭化水素が水素化ポリイソブテンを含み、フレグラン

スがバニラフレグランスを含み、ビタミンがビタミン A パルミテートおよびビタミン E アセテートを含み、ここでポリアセタールウレアがポリオキシメチレンウレアを含む、前記手袋。

【請求項 8】

請求項 1 の手袋であって、コア物質が湿潤剤および染料を含む、前記手袋。

【請求項 9】

請求項 1 の手袋であって、外表面が天然ゴムラテックス、ポリクロロブレン、ポリウレタン、ニトリル、またはその組合せからなる群から選択されるエラストマー性物質から形成される層を含む、前記手袋。

【請求項 10】

請求項 1 の手袋であって、コア物質が潤滑性である、前記手袋。

【請求項 11】

請求項 1 の手袋であって、コア物質が使用者の手に湿気を与える、前記手袋。

【請求項 12】

請求項 1 の手袋であって、コア物質が湿ったまたは乾燥した手での装着 (donnability) を容易にする、前記手袋。

【請求項 13】

請求項 1 の手袋であって、コア物質が心地よい香りまたはフレグランスを含む、前記手袋。

【請求項 14】

請求項 1 の手袋であって、マイクロカプセルが皮膚接触表面から突き出ている、前記手袋。

【請求項 15】

請求項 1 の手袋を製造する方法であって、

型を凝固剤溶液でコーティングする工程、

型をエラストマー性ラテックス溶液に浸漬することによって、型上にラミネート層を形成する工程、

前記ラミネート層を上塗りでコーティングする工程、ここで前記上塗りは水、ポリウレタンおよびマイクロカプセルを含み、および

前記ラミネート層と上塗りを乾燥し、硬化させる工程、

を含む、前記方法。

【請求項 16】

請求項 15 の方法であって、上塗り中のマイクロカプセルのポリウレタンに対する比率が約 0.09 ~ 約 0.70 である、前記方法。

【請求項 17】

請求項 15 の方法であって、マイクロカプセルが上塗り中に約 1 重量% ~ 約 5 重量%の量存在する、前記方法。

【請求項 18】

請求項 15 の方法であって、ポリウレタンが上塗り中に約 5 重量% ~ 約 12 重量%の量存在する、前記方法。